



産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例



株式会社富田商店

安全衛生情報では、北名古屋市の「株式会社富田商店」(代表取締役 富田昭夫氏)ヘッドオフィスを訪問し、安全衛生の具体的な取組を紹介いたします。

同社は、昭和37年に名古屋市西区において「富田商店」を創業しました。平成5年5月に「株式会社富田商店」として法人化し、現在、産業廃棄物収集運搬業許可(愛知県、三重県、岐阜県、長野県、静岡県)、特別管理産業廃棄物収集運搬業許可(愛知県、三重県、岐阜県、静岡県)、一般廃棄物収集運搬業許可(北名古屋市、江南市、大口町)を取得して、廃棄物の収集運搬業を行っています。

この他、お取引のある工場の依頼を受け機械設備の解体据付、造園、リサイクル、清掃等も行っています。今号では、ディレクターの富田康祐氏に、同社の安全衛生の取組についてお話を伺いました。



安全衛生について話す富田ディレクター

安全衛生は特別な取組ではなく、日常の当たり前のこととして実践しています。

日々の点検、確認、報告、職場の整理整頓が日課です。

◆廃棄物収集運搬における取組

産業廃棄物処理としては、収集運搬業が主になっています。

ドライバーは各工場の作業ルーティン(安全かつ効率よく)に従って業務を行います。そのため新人ドライバーには指導係が同乗し、細かな注意事項をメモして覚えることを常としています。一定期間の実施訓練後にドライバーとして独り立ちします。

また、緊張感をもって作業することが、事故防止、安全作業の基本になると考えており、その取組の一つとして、工具や清掃用具などの忘れ物防止です。

現在、全車両の必ず目につく場所に「忘れ物防止シール」を貼って、作業終了後に忘れ物がないかを常に意識するようにしています。

当社独自の取組としては、車止めにロープを付け、ドアの取手に引っ掛けているため、置き忘れはありませんし、また、出発時に、今一度忘れ物はないかを点検するきっかけとしています。



車止めにロープを付け、ドアの取手に引っ掛けて輪止めの置き忘れを防止

荷台からの昇降時、事故対策として昇降設備を設置する他、昇降用の脚立を常に積んで走る(勝手に降ろさない。)ことを全社員に周知徹底しています。

さらに、運搬時の飛散防止のため、平日頃から車両を洗車し粉塵等を洗い流しています。洗車作業は、車両の不具合を見つけるきっかけにもなり、安全対策の一つになっています。

◆工場・作業場における取組

工場内の設備機器の清掃時は、機械への巻き込まれ、挟まれを防止のため電源を必ず切ります。

同社ではブレーカーから電源を落として、電源盤に必ず「作業中」の札をかけてから清掃作業を行います。「作業中」の札をかけることにより、他の作業員が電源を入れてしまうことを防ぎます。



作業場にある資材は、使用目的ごと、形状や大きさごとに分けて並べ、使用後は点検（使用による劣化、破損等）して元の位置に戻しています。

ヘッドオフィスに隣接する作業場には、多くの設備機器や資材が保管されており、棚には使用目的や形状ごとに並べられ在庫状況を一元管理しています。

作業場の整理整頓は安全対策として必須であり、これにより効率よく作業が進められ、モノが整理整頓されていることで、軽微なケガを防ぐことができます。

◆安全衛生会議

同社では、毎月安全衛生会議を開催して、ささいな内容でもヒヤリハットとして取り上げています。

作業中のアレっ？を見逃すことなく、すぐに対策を講じる姿勢が社内に浸透しています。

安全衛生は特別な取組という意識ではなく、日常の当たり前の取組として実践するよう社内に周知徹底しており、これが災害事故防止ゼロにつながっています。



ヘッドオフィス内に掲示された代表取締役富田昭夫氏の数々の表彰状



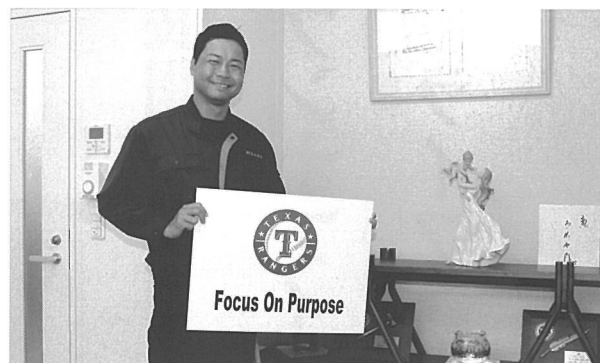
ヘッドオフィスに隣接する作業場の建屋と同社の車両

現在、富田ディレクターは安全衛生の責任者ですが、会社全体の管理も行っています。

常に目標に向かって邁進しているからこそ、現場の小さな芽に気づくことができ、必要な改革を進めていくという機動力は、同氏が座右の銘にしている「Focus On Purpose」という言葉から生まれているのかもしれない。

最後に、富田ディレクターは本年より青年部の会長を努め、環境教育事業及び社会貢献事業に取り組み、まもなく迎える40周年に向けて尽力されています。

About Director Tomita



このパネルは社内に飾られています。同社へ訪問の際は必見！

富田ディレクターは、産廃処理業に従事するまではプロ野球選手の選手でした。

小学2年生から28歳まで、投手としてのキャリアを持ち甲子園への出場経験があります。

日本を含め7か国で野球経験があり、中でもメジャーリーグでもあるテキサス・レンジャーズとの契約は、メディアでも報道されました。

努力家であり、弱音を吐かない、選手としての模範となるような富田氏の入団に、応援のファンは我が事のように喜びました。

写真「Focus On Purpose」（目標に焦点を合わせる）のパネルは、野球選手として海外へ飛び立つ勇気とトレーニングの粘り強さ、不屈の精神力を讃え、テキサス・レンジャーズから贈られたものです。